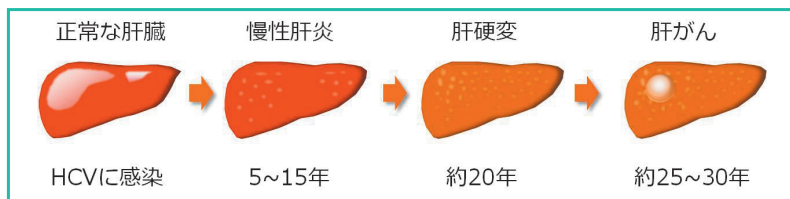


## C型肝炎に対する最新治療

消化器内科 糸瀬 一陽

### ■C型肝炎とは

C型肝炎ウイルス(HCV)というウイルスに感染することで肝臓の細胞が壊れ、10年以上かけて徐々に肝臓の働きが衰えていく病気です。初めは自覚症状もなく、健康な人と変わらない生活を送ることができますが、進行すると肝硬変・肝がんの原因となり命を脅かします。肝がんの原因の約80%は、C型肝炎ウイルスの感染によるものです。しかし、原因であるウイルスを排除することで、肝硬変や肝がんを予防することができます。このため、**早い時期に治療を受けることが重要です！**



### ■C型肝炎治療薬の最新情報

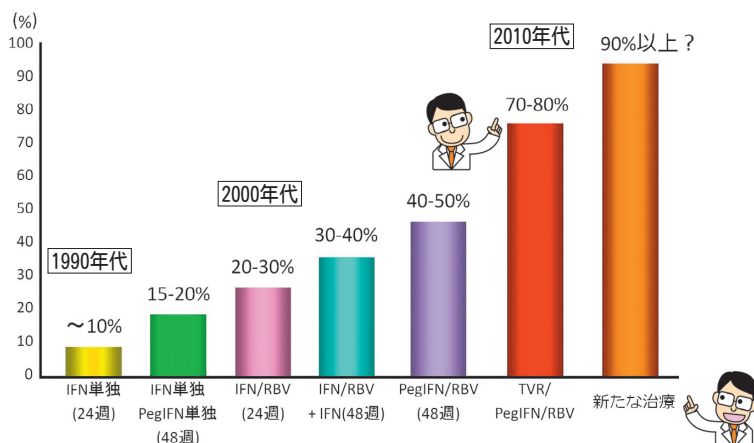
HCVには、治療薬が効きにくい1型と、効きやすい2型があります。日本人の場合7割の方が1型です。また、ウイルス量が多いと、より効きにくいことがわかっています。これまでは、ペグインターフェロンとリバビリンという薬を併用する治療法が標準治療として行われていましたが、1型では約50%の治療効果にとどまっていた。2011年から**テラプレビル**という**新しい薬が登場し**、ペグインターフェロン、リバビリン、テラプレビルの3つの薬を使って治療すると、**1型に対しても約80%と高い治療効果が得られるようになりました**。さらに、**今年から来年にかけて、新しい薬が登場する予定です**。副作用も少なく治療効果も良好であるといわれています。インターフェロンを使用しない治療法も開発中であり、数年後には使用できるようになるでしょう。

### ■肝炎検診を受けましょう

このように、C型肝炎の治療法は次々に進歩しています。当院では、患者さんそれぞれの状態によって、治療の時期、方法を検討し最適な治療を行っています。

**40歳以上の方は、お住まいの自治体で肝炎ウイルス検診が実施されていますので、是非受けられることをおすすめします。**C型肝炎と診断されたら、自覚症状はなくても一度は、当院をはじめとする専門の医療機関を受診し、ご相談ください。

### C型肝炎における抗ウイルス療法の進歩 — 1型でウイルス量が多いタイプに薬が効いた割合 —



IFN：インターフェロン(注射薬) PegIFN：ペグインターフェロン(週に3回必要だったインターフェロンを1回で済むように改善された注射薬) RBV：リバビリン(錠剤) TVR：テラプレビル(錠剤)

#### 理念 基本方針

#### ●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。



イメージキャラクター  
かんろっこ